**中学年**

○　主題名　　命あるものを大切に（Ｄ　生命の尊さ）

○　教材名　　「ヒキガエルとロバ」（『わたしたちの道徳』３・４年」）

○　ねらい　　一生懸命生きようとするものを見つめ、一生懸命さを感じ取ることを通して、生きているものすべての生命を大切にする態度を育てる。

○　学習指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動（主な発問と予想される児童の反応） | 具体的な指導・援助 |
| 導入３分 | １．ヒキガエルの絵を見て、感想を出し合う。  ・気持ち悪い  ◇ねらいとする価値への方向付けを行います。  ※展開の時間を確保するため、短い時間で行います。  ・いやな感じ | ・率直な感想を出し合わせる。 |
| 展開39分 | ２．教材を読む。  ◇児童に音読をさせると、音読した子が教材を理解することが他の子よりも難しくなります。  ３．ロバの姿・行いについて、意見交流をする。  ○「目をとじている小さな生き物に鼻を近付け、友達を見るようなやさしい目でじっと見続けていた」、「自分に残った全ての力をふりしぼるかのように、歯を食いしばって、足に力を入れた」とありますが、どのような思いでロバはこのように行動したのだろう。  ・ヒキガエルも人間にひどいことをされてかわいそうだ。  ・自分が頑張れば、何とかヒキガエルを助けることができる。  ４．アドルフたちの、ロバやヒキガエルを見る目の変化について考える。  ◎遠く去っていくロバのすがたを、いつまでもいつまでも、ながめていたアドルフたちは、どんな思いでいただろう。  一生懸命生きているロバやヒキガエルは立派だと思う。人間はひどい。恥ずかしいことをしてしまった。  力のあるロバが小さいヒキガエルを守るという助け合いの姿勢が立派。  　命あるものは、区別なく全て大切である。  ○自分は、～の、どの意見に近いだろう。  その理由も考えよう。  質問があれば出してみよう。  ※質問「人間って、命を食べて生きている。どう考えたらいいの？」  ○すべてに命があるけれど、大切にしてきたかどうかを振り返る。 | ・教師が範読する。  ◇この２つの場面のイラストを提示すると、考えやすくなります。  ◇ロバに自我関与した率直な意見を出し合わせます。  ◇意見を、「反省」「助け合い」「生き物は平等」などに分類して板書していくと、意見が整理され、自分はどの気持ちが強いかを考えるための助けとなります。  ◇選んだ理由をみんなで交流していくことで、ねらいとする価値観に関わる話し合いにすることができます。  ◇質問の内容は、現代的な課題を含んでいる場合があります。答えが一つではないものについては、その課題に気づいたことをほめるようにします。 |
| 終末３分 | ５．今日の振り返りをする。  ○今日の友達の意見から、自分の考えが変わったところはありますか。 | ◇変わったところがあれば、そこが学習の深まりといえます。変わったところがない場合も、意見を参考にした結果、確かになったところですから、それも認めるようにします。 |

◇登場人物を絵で示すと、自分のこととして

考えやすくなります。

＜板書計画＞

第○○回道とく

モムンとヘーテ

ネームプレート

遠く去っていくロバのすがたを、ながめていたアドルフたちは、どんな思いでいただろう

ヒキガエル（絵）

一生けん命生きているロバやヒキガエルは

立ぱ。

はずかしいことをしてしまった。

大きいロバが小さいヒキガエルを助ける

という助け合いの姿せいが立ぱ。

命あるものは区べつなく全て大切なんだ。

・ひとりでにげたら、ヘーテがこまったとき

たすけてあげられない

ヒキガエルとロバ

ロバと

ヒキガエルを見ていた

アドルフたち

（絵）

やさしい目のロバ（絵）

力をふりしぼっているロバ（絵）

・ヒキガエルもひどいことをされてかわいそう。

・自分ががんばって、何とか

ヒキガエルを助けたい。

・生きるんだ！

◇板書は、全員の意見を全て書くと、かえって分かりにくくなります。キーワードのみを書いたり、似た意見はネームプレートを貼ることでまとめたりし、思考の助けとなるような板書を心がけましょう。

第　　回　道とく　「ヒキガエルとロバ」

年　　組　　番　　名前（　　　　　　　　　　　）

○とおくさっていくロバのすがたを、いつまでもいつまでも、ながめていたアドルフたちは、どんな思いでいただろう。

（自分の考え）

○命を大切にしてきたかどうか自分をふり返ってみましょう。